

3mの大怪物もいるらしい!? 沖縄は巨大タチウオ天国だった!

フィッシングエイト本店・寺元副店長が語る超豪快テナヤ釣り

身長176cmの寺元さんと添い寝すると、
何だか大きく見えませんが、やっぱりこれ
はチャンピオンベルト級だ



168cmの大迫力!「指10本あるんじゃないですか?」「うーん、8本ぐらいですかね」と謙虚な寺元さん。水深270~280mのポイントで大阪湾と同じテナヤの釣りてヒットしたのだそう。「持ち帰って食べたんですけど、脂が乗って最高においしかったです」と言う沖縄のタチウオベストシーズンは10月から翌年2月下旬ということだ



テナヤは市販品で最大のハヤブサの60号、ワイヤリーダーはイシダイ釣り用の#36を40cm、エサはサンマを半分に切ったものを使用。寺元さんの使用タックルはサオがダイワ・メタリアタチウオMH-225、リールが電動のシマノ・フォースマスター-3000MK、ラインはPE3号と意外とライトだ

初チャレンジで 168cm!

タチウオはいったいどれぐらい大きくなるのだろうか? 大阪湾岸の波止で釣れるものではメーターオーバーの指5本クラス、同じ大阪湾でも船釣りならもう少し大きくなり指6本ぐらいが超大型の部類。近畿圏ではとびっきり大型が釣れることで有名な伊勢湾口の船釣りならドラゴンと呼ばれる指7~8本サイズがねえ、これでも充分モンスターなのだが南のほうに行けば、さらにデカイタチウオが釣れる。たとえば九州の宮崎なども超大型が釣れることで知られているが、近年注目を集めるのが沖縄だ。聞けば指10本クラスが釣れるという。



寺元副店長が勤務している大阪市平野区にあるフィッシングエイト本店(☎06-6799-0080)のほか大阪府内のエイト2、エイト3、フィッシング1BAN、LURE1BAN、神戸市西区のエイト玉津、京都市伏見区のエイト京都伏見とグループ各店にはタチウオ釣りが得意なスタッフが必ずいるので気軽に相談にのってもらえる。もちろん全店でタチウオ用品を豊富に取り揃えている



その沖縄の怪物タチウオにチャレンジしたのが大阪を中心に兵庫、京

都と近畿一円に店舗を展開する大型釣具店イチバンエイト・グループのスタッフの皆さんだ。

2012年3月20日、慰安旅行と社員研修を兼ねて沖縄本島の本部港から遊漁船「善海丸」に乗り込み、見事に怪物を仕留めることができたフィッシングエイト本店の副店長・寺元昭二郎さんにお話をうかがった。「ベストシーズンではない3月でしたので残念ながら船2隻での釣果は2尾だけでした。そのうちの1本が運よく僕のサオにヒットしまして、全長168cmで幅は指8本ぐらいです。もう1本は社長がゲットした140cmです。アタリは大阪湾の釣りと同様、最初はコツコツと微妙でしたが、その後の突っ込みはズツドーン!と半端なく強烈でした」

沖縄では以前からジギングのタチウオ釣りをやっていたが、この時寺元さんが試したのは大阪湾と同じテナヤのエサ釣り。現在、沖縄を拠点に活動中のシマノテスター・高橋哲也さんからの、お誘いを受けてのチャレンジだったそう。

ところで沖縄にはオキナワオオタチ、テンジクタチという別種がいるが上の写真を見ればわかり大阪湾と同じ、標準的なタチウオっぽいし寺元さんも「同じタチウオだと思えます」とのご意見。さらに、どの種かは不明だが3mクラスがいるのだとか。ただポイントの水深が200~300mなので陸っぱりではまず無理だが、沖縄は巨大タチウオに間違いなさそう。